



発信力を育成する活動を授業の中で体系的に行える

昨年度まで「英会話」の教材は全て担当教員の自作でした。長期的視点で英語の発信力を育成するために、体系立てて授業が行える教材はないかと探していた時、『即興スピーキング!』と出会い、採用を決めました。テキストには活動素材がふんだんに盛り込まれており、飽きることなく繰り返し利用できます。また、Unitごとに難易度が高くなっているので、順に進めていきながら、英語での発信力を自然と伸ばすことができます。

授業でよく使うのは巻末のカードA・Bです。時間と条件を設定した上で、ペアで交互にカードをめくらせ、引いたテーマについてモノログやダイアログの形で自由に話します。時間が来たらペアを替え、繰り返します。同じ活動を違う相手と複数回行うことで、より速く、より正確に英文を話せるようになっていきます。また、即興で話すことにも慣れ、もっとうまく表現したいという欲求が自然と芽生えてきます。この教材を通じて、英語が実技教科であることを改めて認識させられました。

カードを用いて自然な発音を促すことで、より実際の場面に近いスピーキング活動が可能になりました。そこで今後は、カードCを用いてディスカッションやディベートといった、より発展的なスピーキング活動を行っていきたいと考えています。

! 最も指導に役立ったこと

即興で話す練習が自然な形で行え、教材を繰り返し使うことができた

教材の使用方法について

○ 授業で使用

週1回の「英会話」の授業でメインの活動やウォームアップに使用する他、別の英語科目でも復習や練習に繰り返し使用

テストの実施方法について

○ 1回の範囲、問題数

定期考査において、授業で扱った題材からライティング問題を出題

○ 問題の種類

質問に対し3文以上で答える問題やテーマについて3～5文で意見を述べる問題、与えられた語句を3文以上で説明する問題